

# 谷川岳山行記録



目的地	谷川岳（西黒尾根～天神尾根）	期 日	平成22年5月17日（月）・終日快晴
山人	笠原正雄単独	特 記	残雪期終盤の絶好天を逃さずに入山。

地点名	時刻	記 事
ロープウェイ駅	午前8:10発	駐車は無料。登山指導センター前で車両進入禁止。西黒尾根登山口から急登。
送電線鉄塔下	8:35	早くも汗をかく。ここまで夏道。この先窪地に雪が残る。GPSトラック on。
道 標	9:08	土合1時間-山頂3時間とある。ここまで登り一丁。目指すピークが見える。この先少し下りがある。
腰を下ろして休む	9:10～9:20	登り途中で腰を下ろすことはあまりしないが、昨日の鋸山の疲れだろうか、体がやや重い。パンと缶コーヒーを飲む。
雪に上る	9:35	夏道が雪に覆われた。やや急登もある。昨日のものと思われるトレースがある。
夏道に復帰	9:50	雪歩きから右手のヤブを数メートル掻き分け夏道に上がる。
1本目の鎖場	10:00	夏道の脇に雪がついている。夏道と交互に進む。
鎖場を終える	10:15	2・3本目の鎖は2本杖を縮めて背中に刺して両手で登った。
ガレ沢の頭	10:25～10:40	ラクダの背を経てコルに下りる。巖剛新道からの道に雪が着いているが、踏み跡は無い。再度腰を下ろす。この先雪混じりの岩場のためピッケル歩行とする。
雪と岩場が交互	11:10	ここに来て天神尾根コースを上がる数人が見えて来た。
ストック歩行へ	11:25	岩場もほぼ終わり、雪歩きとなる。山頂間近になった所でレジ袋に雪でビールを冷やしながらか進もうとザックを開けたところ2本のうち1本が空になっていた。岩場に当たって穴があいたのだろうか、残念。
小屋前でランチ	12:00～1:20	天神尾根からの者がポツポツとやって来る。小屋利用者は無い。靴を脱ぐのが面倒でベンチテーブルでランチ。遠くは霞んでいるが、よく晴れていい景色だ。東京からの夫婦2組と単独がやって来た。いずれもこの軟雪にアイゼンを履いていた。小屋番が食堂ロフトで寝転んでいた。ビール1缶を買う。ゆっくりランチ。
オキの耳	1:50	トマの耳に一夫婦。オキの耳は無人。一ノ倉岳方向に踏み跡があった。
小屋前から下山へ	2:05～2:10	誰も居なくなった。ランチ時、風避けに着込んだシャツとカッパ上を脱ぐ。ザックを回収し雪斜面下り。コースにロープが張ってある。天神尾根の方が雪が多い。
熊穴沢小屋	2:45	天狗の溜まり場から夏道が出始め、雪解け水が登路を流れる。立ち休み。トマの耳に居た夫婦を追い越す。この後もう1組と単独を追い越す。
ロープウェイ山頂駅	3:25	スキー場は極く一部のみ滑降可能。リフトに観光客が乗っている。単独男が下り切符を買っている。西黒尾根を下る予定だったが、ピストンに変えたと言う。

以前、通りすがりの上牧からこの時期の谷川岳をわざわざ車を停めて見入ったことがある。昨年1月の快晴に天神尾根を登っているが、今回は西黒尾根が目的であった。岩場の残雪山は初体験である。窪みに雪が詰まっていた面では楽かも知れない。しかしそれが急傾斜となるとやはり要慎であった。全くの絶好天で存分に景色を楽しんで来た。

